



地球環境学堂 人間環境設計論分野

研究テーマ

変容著しい現代社会において,
地域の文化や風土から持続的人間環境のあり方を追求
する。

研究の方法1：デザインワーク

地域に根ざす設計技術（デザインワーク）

現代社会の文脈における住まいや暮らしの再構築・発展的継承のために、環境デザインやソーシャルデザインの思考と方法を提示し、実践的試行をおこなう。



里山環境と連環する環境建築（滋賀県近江八幡市）
（日本各地）デザイナーズが放置竹林を有効利用する資源の利用や人々が共同する要素構造システムを普及する。

研究の方法2：フィールドワーク

地域に根ざす人間居住（フィールドワーク）

自然環境と共生する集落や、多様な文化を内包する歴史都市のフィールド調査から、バランスある人間環境構築の知恵と実践のしくみを解明し、その持続可能性を探求する。



むじゅう しゅうらく
OISAKO 夢充集楽プロジェクト

夢あふれる田舎を目指して！

目的：無住化した集落（納田終老左近）を、多くの人々が集い・遊び・学び・体験できる場所に整備し、新しい里山の暮らしを作り、過疎地（南川上流域）に人々の往来と活気をつくるための拠点とする。

☆小坂（国道27号）から国道162号で
距離：約40分
☆武蔵野から車で約3分



平成20年のかやぶき民家
かや量根ふき替え完成式

無住集落再生プロジェクト（福井県名田庄）：集落と周辺の里山資源を活かし、新たなコミュニティ形成方法をデザインする

伝統建築の再生的評価モータナ（マ・イフジイジーナ、バタラ村）：現代社会における伝統土建築の統廃居を集落住民が譲り受け継承のメレトモである。



現在進行中のプロジェクト

地域に根ざす設計技術（デザインワーク）

- 里山環境と連環する環境建築プロジェクト（滋賀県近江八幡市）
- 竹材循環利用のバンブーグリーンハウスプロジェクト（日本各地）
- ダナン・エコパークプロジェクト（ベトナム・ダナン市）
- 大規模災害後に利用するポータブルトイレプロジェクト
- 景観舗装デザインプロジェクト（大阪府八尾市）

地域に根ざす人間居住（フィールドワーク）

- 風土建築の多面的評価フィールド調査（ベトナム、フィジー、タイの集落）
- フィジー伝統住居ブレの再建プロジェクト（フィジー・ナバラ村）
- 散居村集落の伝統住居変容に関するフィールド調査（富山県砺波市）
- 無住集落再生・新里人構想プロジェクト（福井県名田庄）
- 石技術文化をもつ集落の民俗学的フィールド調査（滋賀県比良地域）



2019年度の研究室体制

■ 教員 小林広英 教授, 落合知帆 助教

■ 学生 16人（うち留学生7人）

　　地球環境学 博士（3人），修士（5人），研究生（2人）

　　建築学専攻・建築学科 修士（4人），学部生（2人）

■ 所属学生の専門分野

建築学, 環境デザイン学, 社会学, 開発学, 防災学など

■ 研究手法

フィールド調査（建物実測, インタビュー, アンケート, 参与観察など）

■ これまでの主なインターン研修先

大学：台湾大学(台湾), バンドン工科大学, 四川大学(中国), ブラック大学(バン
グラデシュ), フエ大学(ベトナム), 南太平洋大学(フィジー)

NGO：アプカス(スリランカ), NSET(ネパール), CODI(タイ), SEEDS Asia(ミヤ
ンマー), Habitat for Humanity(東京), MIT(対馬市), 美山里山舎(南丹市)

企業：松井建設(滋賀県), 桃李舎構造設計事務所(大阪市),

行政：対馬市, 紀伊田辺市, 西条市など

Graduate School of Global Environmental Studies, Kyoto University